

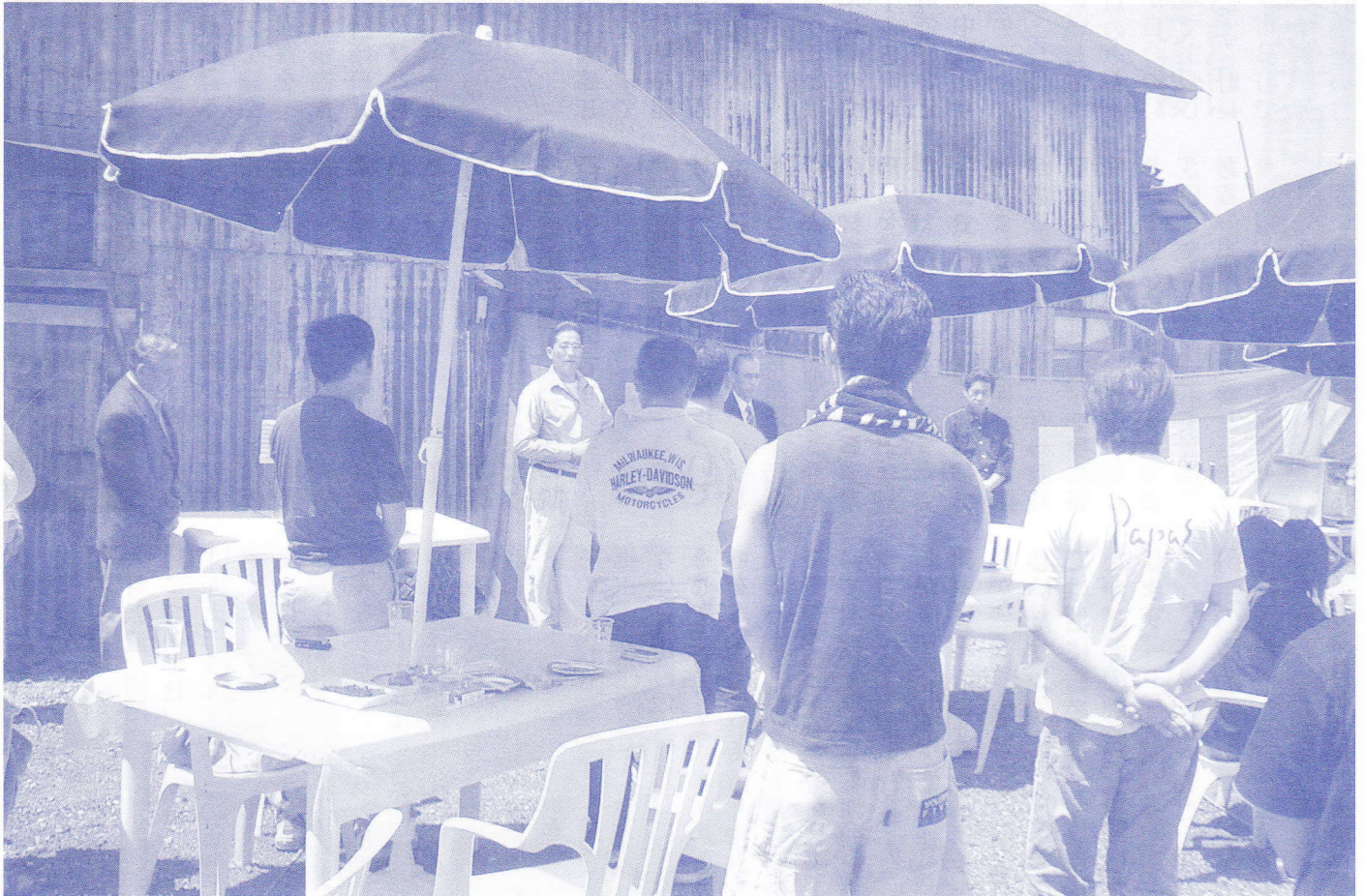
P・M・Aクラブ

Positive.Mental.Attitude

しおた文男後援会

P・M・Aクラブ Vol.1

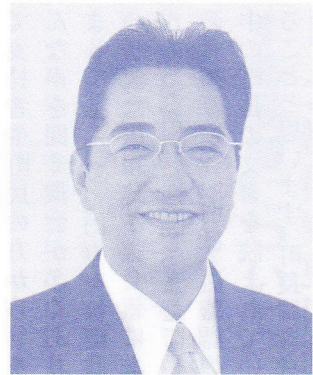
発行日/平成16年11月 発行人/高島 虎止
 築上郡椎田町椎田1671-1 ☎0930-57-5555



町議就任1周年記念のつどい

発刊のご挨拶

しおた文男



秋冷の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

おかげをもちまして昨年に町議を拝命し早や一年半を経過いたしました。これもひとえに皆様方の御引立ての賜物と厚く御礼申し上げます。

つきましては、日頃よりご支援を賜っております後援会の方々へ議会活動の報告と町政への取り組み等の町議活動をご理解いただくために後援会ニュースを発刊いたしましたこととなりました。

今、一市二町合併の法定協議会設置が議会で可決し、あわせて住民投票条例も不確定ながら町長が明言しております。合併に関して本文にて詳しくお知らせするとして現在の椎田町の現況は大変重大な問題が数多く山積しております。この非常時ともいえる時機に

町議として町政に携わることには身の引きしまる思いです。民意をモットーに町議活動を進めている私といたしましては、町民の皆様の願いを町政に反映することが町議の役目だとあらためて確信しております。

議員活動におきましても新人議員にふさわしい行動と実行力を十分に発揮し椎田町の明るい展望が開けるように日々努力いたしておりますが、とにかく議員経験の少ない私にとりましては、皆様方の力強いご支援がなりよりの糧であります。今後も初心を忘れずにモットーにご期待にお応えしてまいります。

この後援会ニュースも私にとって初めてのもので皆様にとつてご満足いただけるか恥ずかしい限りですが、今後は誰もが町政に関心を持っていただけるよう、さらには、ご意見の場としてさまざまな方々にご参加出来るものにしていく所存です。どうぞ、変らぬご指導ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

議会活動報告(一部)

抜粋

私の町議としての議会活動は重要な使命であることは言うまでもありません。そこで議会における一般質問の内容を一部抜粋ではありますが報告させていただきます。今回は最近の平成16年3月議会及び6月議会の内容となっております。

平成16年3月議会

市町村合併について

(塩田文男)

住民説明会を各町内で実施しましたが、参加者も少ない中で各会場の町民の方の意見を聞いてどのように感じたか率直な気持ちを書きます。

(町長)

参加者が少ないということは合併問題を執行部にまかせてもらえらると感じた。1市5町が壊れたから1市2町でいいという意見が参加者の中にあり私も同感。

(塩田文男)

町長は1市2町がいいと言っています、その反対の声も十分あるわけで町長が自分のいいところだけを会場で主張したのは大きな間違いです。町長は豊前市と築城の1市2町であると強調されていますが何故1市2町なのか、行橋との合

併はないのか、また、説明会の中で行橋や京都郡の人達が椎田との合併を敬遠していると言っています。

(町長)

京都郡、築上郡というものは合わないのかなという気持ちもございます。

町長の答弁内容は終始豊前との合併を正当化するもので、その理由も抽象的で何の説得力もない内容です。

平成16年6月議会

サンコー(株)の運営について

(塩田文男)

サンコー様の人材派遣業務を行うようになった理由と、今後の人材派遣業務における事業計画を詳しくお尋ねします。

(町長)

今まで直接町の方で雇用しておりましたが、雇用期間に制限があるということ、町の臨時職員というのは、1年を境に特殊な事情を除いて雇用することはできないということ、ございませぬ。人材派遣であれば、

ある一定期間、2年なり3年なり雇用ができるという利点がございませぬ。そういうことで、人材派遣に切

りかえたというのが、主な理由でございます。

(塩田文男)

人材派遣、期間延長とか、その辺については、やはり町長のルールとモラル、僕はそのように考えてます。

例えばスポーツでルールがあるからスポーツが成り立つ。ルールを守らない、モラルに反するとスポーツにならない。一般の人材派遣の会社には、行政に派遣しようと民間にしようと利益も追求して、一生懸命人材登録をとってやってくるんです。そのルールとモラルの問題で、

椎田の人材派遣は利益をとらない、椎田町の人に対して。そして、なおかつ、半年のところを1年置けると、北九州あたりはパート職員でも試験制度をやっています。競争率10倍。必ず利益を追求して期間を守

つてくるんです。椎田は長く置くからいいじゃないか、それが利点だと。そこはモラルじゃないかなと僕は思います。

しいだサンコーの件については他にも色々ありました。紙面の都合で省略いたします。

町長の政治姿勢について

(塩田文男)

まず、町長の政治姿勢としまして私も議員を一年迎えて自分

なりに勉強し、議員とは何かと自分は何をしなければならぬか、町民の声をどのように行政に反映するかなど、一年を振り返りかえりながら反省もし、今後努力したいと思っております。

町長も就任され早や2年が経ちますが、町長になっての椎田町のビジョンというものがないかと思えます。椎田町はどんな方向に進み住民福祉が増進され、住民活動が安定されるのか、私たち議員に全くといっていいほどその方向性が理解できません。合併という問題だけに振り回され、それも町長自身で振り回しているようにしか私は思えませんが、住民無視というような状況が伺えます。

そこで町長に町民に対する町長としての基本姿勢についてお尋ねします。私も議員になって支持者や町民の方からいろんな声を聞く機会が多くあります、その多くの方々は町政の状況は広報誌や議会報によってある程度理解し、また町長の考え方については、広報誌の中の町長の文書を読まれていることと思えます。町長御自身が広報誌のあいさつを書かれているというのですが、文書の言い回しの前後が大きく変わっていることがあり、一貫性

がなく町長の姿勢に疑問を感じることが多いというように、こともよく聞きます。町長御自身で書かれた文書について、口で言ったことよりもやはり責任が大きいわけで、自分の言葉に責任を持っていただきたいと思えます。多くの町民の皆さんは、町長を信頼していると思いますが、朝令暮改的な考え方、また信念のないような言動については慎むべきと私は思います。

そこで町長に、町民とは何か、主権者である町民と町長はいかにあるべきか、具体的に御説明願います。

(町長)

町民とは何であるか、町民とは椎田町に住む人でございませぬ。そして、私はその町民の中の20歳以上の方の有権者により負託をされた町長です。そして、町長は何をすべきかという形にならば、町民の皆さんの健康を守り安全を守り、そういう形で住民生活を守るのが私の役目でございますし、そして、なおさらまた、教育部分については、教育委員会に基づく施策について金を出していくというのが私の責務ではないかなと考えております。

まさに形式的な答弁で町長としての答弁としては心もとない限りです。

市町村合併問題について

椎田町の市町村合併における現在のまでの推移

平成13年1月

●京築2市2郡首長合併勉強会開始。その後、豊前市・吉富町・新吉富村・大平村離脱。

平成13年8月

●京築1市5町合併研究会発足。

平成14年7月

●京築1市5町合併任意協議会発足。

平成15年3月

●住民アンケートの結果をふまえ椎田町議会1市5町合併協議会参加議決。

同年10月

●築城・椎田・豊前の合併を求める住民請求が出される。

同年11月

●住民請求を椎田町議会で否決。築城町は1市5町との合併離脱を表明。

●11月26日1市5町の首長会議の結果、1市5町合併協議会が白紙となる。

平成16年1月

●新川町長が豊前市、築城町との合併を望む住民説明会を開催。

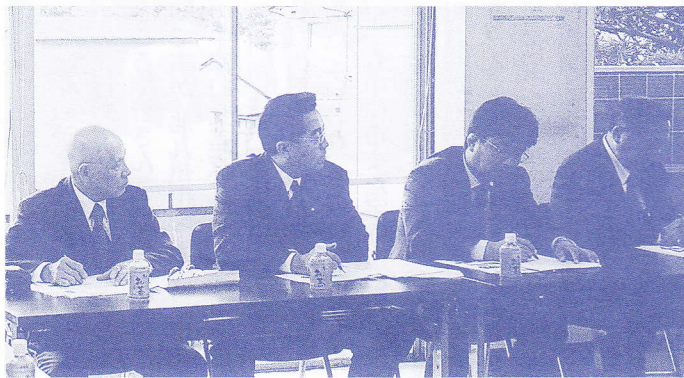
同年9月

●1市2町合併協議会設置案が椎田議会同数で議長採決で可決。

椎田町における市町村合併は上記の通り現在まで紆余曲折を経て豊前市、築城町との合併協議会設置の決定がなされました。このことは椎田町長の民意を無視した独断による強引な政治姿勢の表われであり、住民代表としての町議の立場としては断固認めるべきではないことです。しかし議会における数の力で残念な結果になりました。今後は住民投票をぜひ実現させ今一度、合併の正当性を皆様と共に考えてまいりたいと思っております。

ここで私の合併に関する考えを述べさせていただきます。今回の平成の大合併はご承知のように国の政策であり、その大きな目的は行財政改革を進める上で、さけて通れないものであるということとは理解できません。しかし全国的に合併に関して混乱が生じていることは、いかに多くの阻害要因があるからでしょう。椎田町においても然りです。上記の通り当初は住民アンケートに沿って行橋市を軸に築城、椎田、豊津、勝山、犀川の1市5町の合併協議会に参加していた椎田町は、一部住民の住民発議により一転して豊前市との合併に変わり、今回

の合併協議会の設置が議会で可決し、築城、豊前においてもそれぞれ椎田町の動向を確認した上で合併協議会設置が決定しました。今後は合併協議会において一市二町の合併に関する色々な討議がなされていくわけですが、庁舎の位置や新市の名称、議員定数など、その調整が難航することと思います。現在、他の市町村においては必ずしもスムーズに合併にこぎつけていないのが現状です。しかし、地域エゴだけに固執するのではなく将来の合併が住民にとってより良き展望の開けるものであれば積極的に推進すべきでしょう。



合併研修会(宮城県本吉郡本吉町)

陳情活動

築城基地支援戦闘機F-2機種変更に関する要望について

築城基地における支援戦闘機F-2機種変更に関する要望に關しては平成15年よりなされてまいりましたが、私が町議として基地対策特別委員に任命された平成16年からの内容を報告いたします。

平成15年10月、平成16年3月の2回、防衛施設庁(東京)へ椎田町議会基地対策特別委員で陳情に向きました。その主な要望内容は支援戦闘機F-2が新たに築城基地に配備されることについて防衛庁に対して左記の要望をいたしました。

- ① 住宅防音工事に関する第一種区域の告示日の見直しを図ること。

答え

見直しについては困難ですが、別の手段を考えることが、今後の検討課題。

- ② 住宅防音工事に関するコンターの見直し(区域拡大)を図ること。

答え

- ③ 太陽光発電システム設置補助を行なうこと。

答え

平成15年より、モニタリングを一ヶ所実施。今後も継続的に実施。

- ④ カメラミッション訓練に伴う迷惑料の交付を。

答え

漁業関係者に迷惑料を支払っているが農業者には現在該当する補償制度がないのが現状です。



防衛庁(東京)にて

しおた文男 所属委員会

(H16年11月現在)

- 産業建設常任委員会委員
- 議会報編集委員会委員
- 基地対策特別委員会委員
- 市町村合併問題特別委員会委員
- 議会研修委員会委員
- 築城椎田町財産組合 議会議員

今昔・中津街道

不易流行

川の流れの如く 流れない水は腐り、流れる水は清流となり水という本質は変わりません。時代が流れていても本質を見失わない。不易流行は日本人の歩んできた道ではないでしょうか。



現在の椎田町湊の中津街道

初めに
「地方分権の推移や少子・高齢化の進展、国・地方を通じる財政の著しい悪化など市町村行政を取り巻く情勢が大きく変化している中で、市町村の行政サービスを維持し、向上させまた行政としての規模の拡大や効率化を図るといふ観点から自主的な市町村合併を積極的に推進し行政基盤を強化する。」という理由で私達の椎田町もまさに合併問題に直面している所でございます。
私の生まれる10年前に昭和の大合併で椎田町が誕生いたしました。そして今日の椎田町に限らず全国各地で合併論議がなされ、時代がスピードを求めらる中で今後、

築上郡や京都郡がどのように変化していくのか全く掴めないのが本当の気持ちではないでしょうか。ところで皆さん「中津街道」をご存知ですか、北九州市の中津口(現在の中津口交差点)を基点に中津街道、門司往還、唐津街道、長崎街道、秋月街道の五街道が当時交通の結節点といわれ、その一つが北九州市から中津市また宇佐市へ行く街道を中津街道といい、当時の椎田町は今の航空自衛隊築城基地から延塚記念館前を通過し湊から有安まで、街道沿いには家が立ち並び商業・漁業が栄えまた貿易港でもあったといわれております。
この中津街道ルートには今も尚、数々の歴史が存在します。私は、中津街道上に当時あった物、現在もある物に現地でその場で歴史が理解出来るように由来の看板や印しを示してはどうかと思います。例えば湊の干拓地に鬼塚があります、椎田町の町政要覧にも記されています。現在は農業公園と横並びにあります、名前も由来の看板も何も無いのが現状です。「この石は昔このようないわれがあります、だから今もこの場所にあるのです。」と言つようにいつの時代が来ても現地で感じられるようにしたい。
椎田町は余りにも地理・歴史・文化・風俗・習慣などを教える・伝える・アピールするといふ事が欠けているのかも知れません。

そこで、私は住民代表の一議員としてふるさと椎田町の大切な歴史・文化を現地で目に視える形に残していく事は出来ないかと考えています。椎田町には素晴らしい歴史・文化があります。
皆さんも色々な歴史・文化がある事はご承知の事と思います。また歴史資料等は大切に保管されておりすが保管されているだけでは見ることがほとんど無く、いづれ忘れられ大切な石碑等は隅



中津街道とは
小倉を起点とする中津街道は古くからは中津道、豊前道とも呼ばれ、中津までの主要な街道として多くの旅人が行きました。
小倉から荻田・行橋・築城・椎田を経て豊前の四郎丸あたりで下往還(浜通り)と上往還(勅使道)にわかれ、中津をたどり宇佐神宮のある宇佐で再び一つの道になり、さらに南へと続いてゆく現在の10号線の役目だったのです。

に追いやられてしまうのではないかと心配です。
最近では中津街道を歩いて探索される方も多く聞いています。将来は近隣の市町村の首長にも理解を求め中津街道全てにマークを施していければ、町名や地理等が変わってもいつの時代が来ても大人や子供達が現地で歴史を感じる事ができ、これからの変わった意味のある村おこしに繋がっていく事と思えます。

次号予定 中津街道(椎田篇)